

放棄地の指導等について協議

(京都府宇治市小倉・伊勢田地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

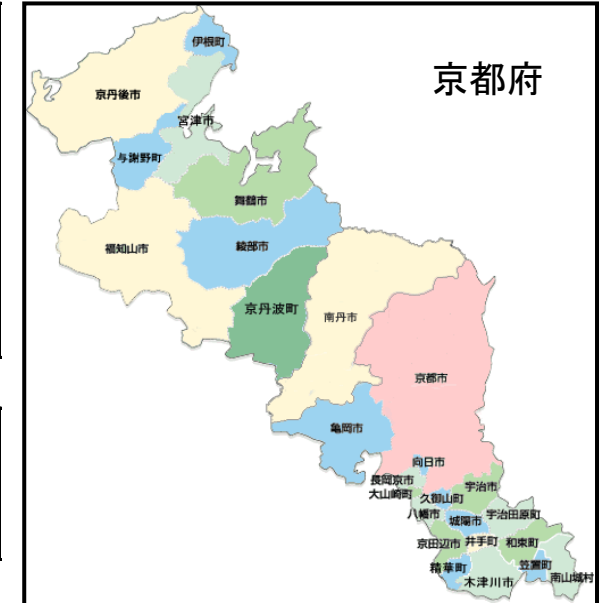
新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 2019年2月6日(水) 10:30~12:00
- 場 所: 宇治市役所
- 出席者: 農業委員3人、農地利用最適化委員1人、
農林茶業課2人、農業委員会事務局2
人、小職
- 報告者: 奥村 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)



2 地区の特徴、状況、課題

- 巨椋池と小倉集落と伊勢田の周辺水田地域で、山城地域での大規模農家が多い。圃場が整備されているため、茶と水田であっても野菜等の栽培が盛んである。
- 巨椋池地域は比較的大規模農家が多く、京都市からの入り作が特に比が多い。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 不作付地(要草刈指導)の対応
 - ・ 巨椋池の放棄地について、久御山町担当者と京都市の掉尾農業指導センター所長に会う。今後、引き続き委員が本人に会うなどの活動をする。
 - ※過去 連絡はしているが、本人からは何ら連絡はない。
 - 久御山町にも農地あり、同様の状況であることから、久御山町と歩調を合わせる。
 - 配達証明で文書を発送する。
 - 国等の関係機関と協議した結果、粘り強く指導をする

4 活動結果

- 情報・意見交換 **1.5** 時間
- 担い手への集積 **a** 増加
- 遊休農地面積 **a** 解消
- 新規就農者 **人** 支援